東海中学校

www.tokai-jh.ed.jp

伝統と革新が育む、
唯一無二の個性と未来。

中高一貫教育を先導してきた東海中学校に宿る、120年を越える伝統
それは、1888年に創立して以来積み重ねてきた革新の歴史です
中学・高校で過ごす6年は、最も多感で変化しうる時期
そのため、本校では仏教精神を基に豊かな心を育み
一人ひとりの多様な個性と才能を伸ばすことを考えてきました
東海という「時代を担う人が次々と育つ環境」で
また一人、“あなた”という素晴しい個性を養った人が世に羽ばたき
より良い時代へと社会を導いていくことを願っています

ごあいさつ

本校は、1888年創立の伝統校として仏教精神に基づく中高一貫教育に情熱を傾け、多くの有為な士を輩出してまいりました。さまざまに変動する社会情勢の中にありますが、今後も不易と流行を正しく見極め、保護者の皆様のニーズにお応えしていく所存であります。
お預かりする13歳から18歳という人生の最も多感な6年間を、一貫した教育理念のもと、一生のエネルギーの根源となるよう全力を傾けてまいります。多くの具眼の士のご理解とご協力を切望いたします。

東海中学校・高等学校校長
林 道隆

沿　革

1888年　浄土宗学愛知支校として西蓮寺（現名古屋市東区東桜2）内に創立
1899年　車道校舎（現校地）に移転
1901年　忠魂祠堂（明照殿の前身）を創建
1909年　東海中学校となる（設立者 浄土宗管長 山下現有）
1911年　知多郡大野にて水練会はじまる
1913年　椎尾辨匡 第2代校長に就任
1916年　忠魂祠堂を明昭殿と改称
　　この頃 校訓「勤倹誠実」確立
1922年　校歌制定
1931年　大講堂完成
1947年　新制東海中学校発足
　　明昭殿を明照殿と改称
1948年　新制東海高等学校発足
1955年　水練会 伊勢二見に定着
1980年　新しい明照殿完成
1989年　百志館（図書会館）完成
2001年　高校新校舎完成
2006年　新体育館・プール等 体育施設完成
2007年　中学新校舎完成
2008年　創立120周年記念式典

初代 武田芳淳 校長

旧本館［大正時代］

旧明照殿

本校の特色 P.03
カリキュラム P.05
総合学習 P.13
スクールライフ P.15
年間行事 P.17
クラブ活動 P.19
施設 P.21
VOICE P.23
実績 P.25

毎日、昼食の前に『ほんとうに…』と全員が合掌し、声を揃えて唱えることにより、飽食の時代とも言われる中で、両親をはじめ自分に食を与えてくださる人々や天地自然の恩恵に対して、心からの感謝の意をささげます。これにより豊かな情操の一つの柱を確立します。

心豊かな「自分」を育む場所。

自ら考え、行動する自由と
自立の精神を持った人へ。

教育目標

本学園は、法然上人の開かれた浄土宗によって設立されました。生命尊重の仏教精神を基調として、明るく、正しく、仲よく、あらゆるものを生かしていくことのできる人間に育っていくために、次の三綱領を教育目標として掲げています。

1. 明照殿を敬い、信念ある人となりましょう。
2. 勤倹誠実の校風を尊重して、よい個性を養いましょう。
3. 平和日本の有要な社会人となりましょう。

椎尾辨匡先生書『勤倹誠実』額

豊かな人間性を養う宗教情操教育

東海学園は法然上人の開かれた浄土宗によって設立され、120年以上にわたって生命尊重の仏教精神に基づく教育を行っています。命の尊さに目覚め、真の平和を求める精神のもと、一度限りの「今」を大切にし、他の命によって支えられ、共に生かし生かされ合う「共生（きょうせい・ともいき）」の心を持った人間を育むための宗教情操教育を行っています。宗教儀式などは決して浄土宗の信者を養成するためのものではありません。例えば、宗教情操教育のひとつに「食作法（じきさほう）」があります。ここには、生かされている自分の命の尊さに目覚め、自分を生かしている無数の「いのち」に感謝する心が込められています。これらの教育はすべての人々にとって大切であると考え、仏教精神がもたらす心豊かな人間育成を目指しています。

全校生徒・職員による知恩院での音楽法要

自分について深く考える宗教の授業

宗教の授業では主に「仏教読本」を教科書として用い、人生の智慧の宝庫である仏教の教えをひもときながら、人間としての生き方について考察します。また、様々なテーマのビデオを鑑賞し、自分の感想や意見をまとめてディスカッションなどを行います。そこで生徒たちは自分の意見を持つことの大切さを知り、自らの責任において自主的に行動する力を学びながら、中学・高校の6年間をかけてじっくり「自分らしさ」を育みます。これからの時代を支えていく生徒たちにとって、宗教の授業は「自分たちはどう生きるべきか」を考える貴重な時間だと考えています。

1911年（明治44年）から続く伝統の「水練会」

個人の未来を見据えた
中高一貫教育。

「個」の力を高め、
実践力を育むカリキュラム。

中高一貫教育の利点を生かし独自のカリキュラムを編成。より高度になる高校の学習内容に時間をかけるため、主要科目では中学3年生から高校の内容に入ります。それに合わせてオリジナル教材を50種類以上用意し、理解度を高めることに使用しています。さらに、少人数クラス編成によってきめ細かな指導を実践。またネイティブ・スピーカーによる英会話の授業を中学1年～高校3年まで多く取り入れ、国際化社会を見据えた実践的指導を早くから展開しています。

カリキュラム		中学1年次	中学2年次	中学3年次	高校1年次	高校2年次	高校3年次
英語		読解力・表現力の養成　副教材による文法力の強化 外国人による英会話	読解力・表現力の養成　副教材による文法力の強化 外国人による英会話	高校英Iレベルの教材による読解力・表現力の養成 外国人による英会話	[英語コミュニケーションI]・[英語表現I] [外国人によるオーラルコミュニケーション]	[英語コミュニケーションII]・[英語表現II] [リーディング]・[総合]	[英語コミュニケーションIII]・[英語表現II] [リスニング]・[英作文]
数学	代数	正の数と負の数　式の計算　方程式 不等式　1次関数　資料の整理と活用	式の計算　平方根　2次方程式 関数$y=ax^2$　標本調査	[数I]数と式　2次関数　図形と計量	[数II]式と証明、複素数と方程式、図形と方程式、三角関数・指数関数・対数関数 [数B]数列、ベクトル	[数II]微分・積分 [数III]複素数平面　式と曲線　極限　微分・積分	大学入試問題演習
	幾何	平面図形　空間図形 図形と合同　三角形と四角形	図形と相似　線分の比と計量 円　三平方の定理	[数A]場合の数と確率　整数の性質　集合と命題(数I)			
国語	現代文	中1教科書　中2教科書水準の文書 口語文法、漢検4級問題集	中2教科書　中3教科書水準の文書 国語表現(作文演習)　漢検3級問題集	中3教科書　[国語総合]水準の文章 読解力養成問題集　漢検準2級問題集	[国語総合] 教科書に基づく学習　副教材による補填	[現代文][古典]教科書に基づく学習　副教材による補填	大学入試問題演習
	古文	初歩的な古文の読解 古文の基礎知識	平易な古文の読解　古典文法(自立語全般の習得)	代表的な古文の読解　古典文法(付属語の基礎) 読解力養成問題集			
	漢文			漢文の基礎知識　故事成語の読解			
理科	物理		光と色の世界　音の世界　物体と力　電流回路　熱と温度	電流と磁界　力と運動　エネルギーの変換と保存		物体の運動とエネルギー さまざまな物理現象とエネルギー　力と運動①　波	力と運動②　熱 電気と磁気　原子
	化学		元素と原子　化学結合　状態変化　水溶液　気体の性質	酸　塩基　中和と塩 酸化還元　電気分解　電池　物質の構成		物質の構成　化学反応　物質の状態と平衡 物質の変化と平衡	無機化合物　炭素化合物 高分子化学物
	生物	動植物の分類とからだのつくり　細胞　[高校生物分野]を含む		からだのしくみとはたらき 生物界のつながり　遺伝　[高校生物分野]を含む	生物の特徴　体内環境の維持　遺伝子とそのはたらき 多様性と生態		生命現象と物質　生殖と発生 環境応答　進化と系統
	地学	地球と宇宙、気候のしくみと天気の変化　大地の変化					全分野の学習
							大学入試問題演習
社会	歴史	[中学歴史]原始～中世	[中学歴史]中世～近代	[中学歴史]近代～現代	[世界史]大航海時代から現代	[日本史]原始・古代、中世、近世	近代・現代 未履習範囲の学習　総復習
	地理	[日本とその諸地域]日本の範囲・自然・地形図・諸地域・図法	[世界とその諸地域]世界の気候・諸地域			[地理]地図　交通　国家　環境問題　自然環境 農業　工業　人口　都市	世界の諸地域
	公民			[中学公民]政治経済	[現代社会]社会生活と青年　経済社会と経済活動　民主政治と民主社会		[政治経済]国際社会と日本、経済と国民福祉 [倫理]古典の思想、現代の思想
							大学入試問題演習 論述入試対策 補講

中学校課程　高校課程　大学進学のための演習

英語科

「話す・聴く・読む・書く」に
重きを置いた
主体的な英語学習

学習のねらい

本校の英語科は、教科書の内容に沿ったオリジナル教材を活用しながら、読解・文法・語彙力をしっかりと養い、高校進学後の大学受験に対応できる基礎学力を習得することを目標としています。また、ネイティブスピーカーの講師と交わす「生きた英会話」や、インターネットを利用してリアルタイムで行う、海外の学生との「異文化コミュニケーション」など、教科書の内容理解だけにとどまらない、より実践的な学習方法を推進しています。

年間授業計画

中学1年次

- 読解力・表現力の養成、副教材による文法力の強化
- 外国人による英会話

教科書に基づいて読解力・表現力を養うとともに、副教材によって文法力を強化。4級を目標として、積極的に英検を受験させる。入門期からネイティブスピーカーの英語に触れさせ、特に音声に対する感性を養う。また、映像等も利用して視覚的学習を行う。

中学2年次

- 読解力・表現力の養成、副教材による文法力の強化
- 外国人による英会話

教科書を用いて読解力・表現力を養成し、副教材によって文法力を強化。3級を目標として、積極的に英検を受験させる。ネイティブスピーカーと会話する喜びを体感しながら、豊かな表現力を養う。また、インターネットを利用して、海外の学生との情報交換を行う。

中学3年次

- 高校英Ⅰレベルの教材による読解力・表現力の養成
- 外国人による英会話

高校英語Ⅰレベルの教材を使って読解力・表現力を養成し、同時に教科書を精読するための英文法を習得。英検準2級に合格することを目標とし、またTOEIC Bridgeを全員受験する。ネイティブスピーカーとの会話を通じて、自分の考えを英語で的確に伝える力を養う。

高校課程の授業計画

2年次までに中学高校の内容を修了し、以降は入試用のテキストや自主教材を用いて受験に向けた学習に注力。3年後期には英検準1級に合格することを究極の目標とする。希望者に対しては、外国人教師による受験用の高度なリスニング力や英作文力の養成を行っている。

数学科

基礎をしっかりと
固めながら
確かな数学力を育む

学習のねらい

カリキュラムは中高6年間を見通して作成しており、中学2年次までに中学校の基本的な内容を終え、3年次では「数学Ⅰ」「数学A」の内容をほぼすべて終了します。教材には中高一貫用のテキスト『体系数学1.2(ともに代数編と幾何編に分冊)』と、その学習配列に合わせた『チャート式参考書』を使用し、上級学年の内容を積極的に取り入れながら、系統的に学習を進めていきます。また、家庭学習の習慣をつけてもらいたいので、適度な量の宿題も出します。中学校の数学に求められるのは、基本的なことの確実な習得です。特別難しいことをするわけでもなく、問題を解くための特別なテクニックが必要でもなく、ひらめきが必要なわけでもありません。難しい問題にじっくりと向き合い、何度も繰り返すことで、基礎から一つひとつ積み重ねていきましょう。

年間授業計画

中学1年次

代数
- 正の数と負の数
- 式の計算
- 方程式
- 不等式
- 1次関数
- 資料の整理と活用

幾何
- 平面図形
- 空間図形
- 図形と合同
- 三角形と四角形

『体系数学Ⅰ(代数編)』、『体系数学Ⅰ(幾何編)』という2種類の教科書とチャート式参考書を使用して、代数分野と幾何分野について学習する。両分野ともに、1年生の学習内容を2学期中に終え、学年末までは〈1次関数〉や〈三角形〉など2年生の範囲を学ぶ。

中学2年次

代数
- 式の計算
- 平方根
- 2次方程式
- 関数$y=ax^2$
- 標本調査

幾何
- 図形と相似
- 線分の比と計量
- 円
- 三平方の定理

1年次に引き続き、『体系数学Ⅰ(代数編)』、『体系数学Ⅰ(幾何編)』という2種類の教科書とチャート式参考書を使用して、代数分野と幾何分野について学習する。学年末までに中学校3年間の課程で履修する学習内容をすべて終える。

中学3年次

数Ⅰ
- 数と式
- 2次関数
- 図形と計量

数A
- 場合の数と確率
- 整数の性質
- 集合と命題(数Ⅰ)

高校1年用の教科書とチャート式参考書を使用し、「高校数学Ⅰ」「高校数学A」を履修する。「数学A」では2学期末の前半にかけて〈集合と論理〉、〈場合の数と確率〉を扱い、間に数学Ⅰの〈集合と命題〉を挟んで〈整数の性質〉を学ぶなど、2分野を交えながら効率的に学習する。

高校課程の授業計画

高校課程である「数Ⅱ」「数B」「数Ⅲ」の3分野を、1年次から2年次までの期間ですべて履修する。3年次以降は、大学入試の傾向を分析し、前年度の問題を中心に入試問題集を使用して演習を行う。特に記述式問題を重点的に指導する。

国 語 科

すべての教科の基礎となる
国語力を高めていく

学習のねらい

国語を正確に理解し適切に表現する能力は、意志伝達のみならず論理的思考や想像をする力を高め、他教科の習得にも必要であることは言うまでもなく、国際化・情報化が急速に進む現代社会においてますます重要になっています。そこで本校では一般の学校より高度な教材を用いて発展的な学習を実践し、生徒の国語力向上に努めています。現代の言語文化の基盤を成す古文・漢文についても、より本格的に学習します。また、正しい国語力の基礎を培うために漢字検定の問題集を教材として使い、受検を推奨しています。表現活動については、作文・感想文だけでなく、短歌・俳句についても指導し、積極的に外部へ応募しています。さらに書道では、今日の情報端末への入力だけでなく、肉筆の文字を心を落ち着けて書くことで情操面の教育も目指しています。

年間授業計画

中学1年次

現代文
- 教科書
- 中2年次水準の文章
- 口語文法
- 問題集 漢検4級

古文
- 初歩的な古文の読解
- 古文の基礎知識

中学1年の教科書のほか、独自のプリント教材を使用して、1学年上の水準の文章を読解・鑑賞する。本校で作成した古典作品集を使用して説話など初歩的な古文を講読する。図書館利用指導など読書習慣を身につけさせる取り組みも行う。

中学2年次

現代文
- 教科書
- 中3年次水準の文章
- 国語表現 作文演習
- 問題集 漢検3級

古文
- 平易な古文の読解
- 古典文法 自立語全般の習得

高校課程内容

1年次と同様に教科書のほかに、より高い水準の教材を使用する。古文は一般的に高校で学習する内容を先行して扱い、古典文法についても本格的に学習する。作文演習の時間を設け、テーマについて理解を深めた上で自分の考えを表現する力を養う。

中学3年次

現代文
- 教科書
- 高校1年次水準の文章
- 問題集 読解力養成・漢検準2級

古文
- 代表的な古文の読解
- 古典文法 付属語の基礎
- 問題集 読解力養成

漢文
- 漢文の構成
- 「故事成語」の講読

高校課程の教材を中心に学習する。現代文はより抽象度の高い内容の評論などを読み、古文は有名な随筆や日記文学などを扱う。漢文の学習を始め、初歩的な訓読の習得から故事成語の鑑賞まで進める。現代文・古文の問題集を使用し、より多くの作品に触れて読解力を養う。

高校課程の授業計画

1年次の「国語総合」、2年次の「現代文」「古典」は、それぞれの科目の教科書を使用しつつ、必要に応じてその他の科目の教科書や教材からも内容を補充する。また副教材として参考書・問題集を指定する。3年次は大学入試に対応した学力養成に焦点をしぼり、問題演習を中心とした授業を行う。

理 科

多様な学習項目を
関連付けながら
理科的な応用力を養成

学習のねらい

本校の理科は、中高一貫教育の利点を最大限に活かし、1年次の「生物」や3年次の「化学」など、一部の授業で高校の学習内容を一部取り入れながら、中学校の内容を効果的に学習します。また、実験や観察も積極的に行い、その目的と方法を意識しながら自ら手を動かすことで、体験的に理解を深めます。理科の学習において大切なのは、「授業中によく考える」こと。疑問が生じたら「なぜだろう」と考え、問題に当たる際は教科書やテキストのどの内容と関係しているかを確認しながら解くことがポイントです。そして、多くの学習項目の一つひとつをバラバラの知識として暗記しようとするのではなく、常に関連するその他の事項と比較しながら学習することも必要です。これは知識のネットワークを定着させるうえで大いに役立ち、応用力を養うことにもつながっていきます。

年間授業計画

中学1年次

生物
- 動植物の分類と
  からだのつくり
- 細胞 [高校生物分野]を含む

地学
- 地球と宇宙
- 気候のしくみと天気の変化
- 大地の変化

教科書に基づいて「生物」と「地学」を履修する。「生物」は2学期までに〈動植物分野〉を学び、3学期は高校の学習内容から〈地質分野〉を先行して扱う。「地学」は中学教科書1年～3年分の内容(〈天文分野〉、〈気象分野〉)について1年を通して学習する。

中学2年次

物理
- 光と色の世界
- 音の世界
- 物体と力
- 電流回路 ● 熱と温度

化学
- 元素と原子
- 化学結合
- 状態変化
- 水溶液 ● 気体の性質

教科書に基づいて「物理」と「化学」を履修する。「物理」は〈光と音〉〈電流〉などを扱い、ピンホールカメラの制作やオームの法則の実験といった体験的な学習も積極的に行う。「化学」は〈元素と原子〉〈化学結合〉など、身の回りの物質や物理現象について扱う。

中学3年次

物理
- 電流と磁界
- 力と運動
- エネルギーの変換と保存

化学
- 酸 ● 塩基
- 中和と塩 ● 酸化還元
- 電気分解 ● 電池

生物
- からだのしくみとはたらき
- 生物界のつながり
- 遺伝

教科書に基づいて「物理」「化学」「生物」の3分野を履修する。「化学」と「生物」は3学期以降、高校の学習内容を先行して扱う。3年生の実力考査を「中学3年間を総復習する機会」と位置付け、その出題範囲などに1・2年次の学習内容を盛り込むことで、理科の実力を養成する。

高校課程の授業計画

1年次に「生物」、2年次に「物理」と「化学」を履修する。2年次までに中学高校の内容の多くを修了し、3年次は教科書の残りの内容を学習するとともに、大学入試に向けた問題演習に取り組む。例えば「地学」では大気と天文の2分野に時間をかけるなど、受験に対応した授業を行う。

社会科

人間の歴史や社会の仕組みから
有用な知識を手に入れる

学習のねらい

社会科は暗記さえすればいい、と思っている人がたまにいますが、これは間違った考え方であり、勉強方法としても効率的ではありません。第一、多くのことを覚えこもうとしても、すぐに忘れてしまうし、「覚えなければいけない」という重圧となって精神的にもマイナスです。本校の考える社会科とは、人間の社会の歴史や、各地の生活の様子、私たちの身の回りの社会がどうして発達してきたか、またどんな仕組みで動いているかをいろいろな事実をもとにして考え、そこから役立つことを身につけていく学科です。だからこそ、ある時代の様子やある地域の特徴、また社会の仕組みについて、それをそのまま覚え込ませるのではなく、いろいろな事柄と結び付けさせることで情報を整理し、本物の知識が身につけられるように導いています。

年間授業計画

中学1年次

歴史 ［中学歴史］
- 原始〜中世

地理 ［日本とその諸地域］
- 日本の範囲
- 自然
- 地形図
- 諸地域
- 図法

教科書に基づいて「歴史」と「地理」を履修する。「歴史」は日本の古代から中世を扱い、基本用語を理解すると同時に興味関心を引き出すことに主眼を置く。「地理」は日本とその諸地域を学びながら、地形図の見方や図法に関する知識を習得する。

中学2年次

歴史 ［中学歴史］
- 中世〜近代

地理 ［世界とその諸地域］
- 世界の気候
- 諸地域

1年次に引き続き「歴史」と「地理」を履修する。「歴史」は世界と日本の歴史的関係性を軸として中世から近代を扱い、基礎学力をもとに幅広い歴史学習の態度を身につける。「地理」はアジアから両極地方まで、世界とその諸地域の気候や地理的特徴を学ぶ。

中学3年次

歴史 ［中学歴史］
- 近代〜現代

公民 ［中学公民］
- 政治経済

教科書に基づいて「歴史」と「公民」を履修する。「歴史」は近代から現代までを扱い、「地理」「公民」の内容も含め、総合的な視野に立って歴史学習を行う。「公民」は人権思想をもとに政治経済を学習し、今自分の置かれている社会に対する視野を広げる。

高校課程の授業計画

1年次に「世界史」と「現代社会」、2年次に「日本史」と「地理」を履修。3年次は4分野を並行して学びながら、大学入試に向けた総整理や補講、論述を含めた演習を実施する。また、例えば「世界史」では戦中・戦後の今日に至るまでの世界を学び、現代人としての使命と展望を身につけるなど、知識の習得にとどまらない教育を目指す。

音楽科　知性と感性を、相互に高め合うように磨く

人は生まれながらに優れた知性と感性の素質を兼ね備えており、どちらか一方だけが磨かれては健全な発達は成り立ちません。学校はそれらをバランスよく育てる場です。その一端を担う音楽科では、歌唱・鑑賞・器楽などの幅広い音楽活動に触れることで音楽に対する興味を育み、一般教科の理解向上にも大きく関わる、優れた感性を養います。

美術科　美に対する感性を養い、人生の大きな糧に

芸術文化は生徒の感性を刺激し、情操豊かな人間形成の基礎を培います。美術科においては、美に対する素直な心を育て、歓びや感動を心の奥で味わうことを経験します。また、創作にあたり、苦労の末に独自の発想が生まれてくる素晴らしさは、人生を豊潤なものにするだけでなく、今後社会の一翼を担う上で大きな肥やしとなることでしょう。

技術科　創意工夫の先に、生活の知恵を身につける

原始社会から現代社会までが脈々とつながっているのは、目的を達成するために道具の発明をしてきた歴史と言っても過言ではありません。しかしその一方で、身近な生活に密着した知恵の技術がおろそかにされ、釘一本打てない大人が増えています。そんな今だからこそ、木工作や電子工作の実践を通して、基本的で素朴な道具を作る喜びを体験してもらいます。

家庭科　生活全般を実践的に学び、より豊かな暮らしへ

本校の家庭科においては、人として、一人の生活者として自立した生活をするために、1年次では「衣食住」という生活に欠かせない知識や技術を身につけ、将来賢い生活者となることを目指した学習を行います。また、2年次では「家族」「消費」「環境」「保育」といったさまざまなテーマについて自ら考え、意見をまとめて発表することで、自分の生き方について学びます。

保健・体育科　スポーツを通して、健やかな心と身体を育む

保健体育の学習目標は、正しい運動の実習や体育に関する知識および健康生活に必要な知識の理解によって心身の健全な発育を促し、さらに健康な生活を営む能力を養うことです。学校はもちろん家庭においても健康増進を図り、楽しく明るい生活を過ごせるよう指導していきます。

宗教科　仏教精神に学び、人間としての生き方を考える

教科書は主に『仏教読本』を使用し、人生の智慧の宝庫である仏教の教えを紐解きながら、人間としての生き方について考えていきます。この先どんな困難が待ち受けていようとも、それらを乗り越え、喜びと感動のうちに充実した人生を全うできる人間として成長していくことを願っています。そして宗教の授業は、その重要な一翼を担っていく使命があると考えています。

総合科　情報化・国際化する現代社会を生き抜くために

総合科には「情報」や「国際理解」など計5つのテーマが設定されており、3年間をかけて取り組んでいきます。中でも1年次に履修する重要テーマ「情報」で学ぶことは大きく2つ。1つ目は「情報力をつける」こと、そして2つ目は「新しい社会のルールを学ぶ」ことです。情報化が急速に進む現代社会を安全に生き抜くための、基本的な能力と知識を身につけていきます。

これからの社会で必要となる、感受性と主体性を培う舞台。

実社会に適応していくための基盤を築き
未来を見据えて自己実現への道をさぐる。

生徒の自主運営を基本とした、地域参加型の公開講座。

サタデープログラムは、年2回学校を一般に開放して、多種多様な合計100以上の講座を開く、本校の一大イベントです。多くの企画・交渉を生徒実行委員会が担当しています。講座では、政治評論家、弁護士、マンガ家、女優など著名人を講師に招いた話題のセミナー、現職国会議員との公開討論会等を実施しています。そのほかにも企業家やアナウンサー、政治家といった本校の同窓生が講師を務める「ようこそ先輩」など、バラエティ豊かな講師陣による興味深い講義が行われ、毎年好評を博しています。今では来場者が年2回で1万人を超える人気イベントになっています。来場される地域の方々との交流、講師陣との触れ合い、そして自らが企画・交渉した達成感。そのどれもが、生徒にとって貴重な経験となり、自信となり、自らの幅を広げ、将来を考えるための機会になっています。

サタデープログラム

将来への視野を広げる総合学習

本校では、「今、そして将来にわたって必要なことを学ぶ」ことを目的とした総合学習を実施しています。情報化社会の中で、実社会との関わりを重視した指導を行います。中学校では、インターネットなどさまざまな「情報」の取り扱いを中心に学ぶ授業、生命の問題に向き合う「いのち」の授業、自分の将来像を描き出す「自己発見～卒業レポート」の授業などを行い、現代社会を生き抜くために必要な力を成長段階に合わせて育成します。高校では外国人講師の指導により、トピックを中心にしたコミュニケーション重視の授業形式で進められます。国際理解の一助としてコンピューターを利用し、英語圏の文化や習慣に習熟することを目指しています。「サタデープログラム」に加え、高1の「研究&仕事紹介講座」という企画でも、実際に社会で活躍されるOBを中心としたさまざまな方をお招きするなど、将来社会に出たときに必要な知識や意識を、6年間にわたって本格的に学べる体制を整えています。

中3「自己発見」プレゼンテーション風景（講堂）

活気と笑顔あふれる
健やかな時間。

自由と規律のもと、親しき仲間たちと
ふれあい分かち合う充実のとき。

東海生の一日

登校・朝礼

8:40-12:30
1－4限目

休み時間でも
わからない所は
先生にどんどん質問!

昼食後は
運動場で自由時間を
満喫!

12:30-13:10
昼休み

13:10-15:00
5・6限目

次の日も
気持ちよく勉強するために
一日の汚れをきれいに!

15:00-15:30
清掃・終礼

15:30-
クラブ活動

多彩な行事で得る経験を、豊かな人間性へとつなげる。

本校では、学校行事においても、生徒の自主性を尊重して行われます。
一人ひとりが責任を持ち、自主運営に対して積極的に取り組みながら、
協調性や統率力の大切さを学んでいます。

海外研修

立山登山

ロッククライミングも体験！

九月祭

祖山参拝

4 APRIL

4月

灌仏会（花まつり）

釈尊降誕（お釈迦さまご誕生）をお祝いする日。

球技大会

サッカーやバスケットボールなどの競技をクラス対抗で行います。

途中で負けてもクラスメイトの応援へ。ボールの行方に一喜一憂する1日です。

6 JUNE

6月

修学旅行（3年生）

山口・広島・岡山と瀬戸内沿いを巡る3泊4日の山陽の旅。

世界遺産の宮島、荘厳な秋芳洞、歴史の息吹感じる萩の町並みなどを訪れます。

遠足（1・2年生）

デイキャンプやオリエンテーリングなど楽しいイベントに取り組む1日です。

遠足の行き先や内容はクラス討議で決定。下調べや準備もまた楽しいものです。

7 JULY

7月

水練会（1年生）

100年以上続く伝統行事。伊勢二見浦での4泊5日の水泳合宿です。

遠泳組は3ｋｍ、距離泳組は1ｋｍを泳ぎます。泳ぎ切った充実感は一生の宝物です。

8 AUGUST

8月

立山登山（2年生希望者）

富山県の東部にそびえる北アルプス・立山連峰を縦走します。2泊3日の旅です。

鎌倉散策と仏教ふれあいの旅（3年生希望者）

江ノ島を遠くに臨む鎌倉・光明寺で過ごす3日間。散策では鎌倉の文化遺産を訪ね歩きます。

海外研修（3年生、高校1年生）

スコットランド、アイルランドへの海外研修。様々な国から集まった中高生と生活を共にします。

水泳大会（1年生）

クラス対抗の水泳大会です。級友の泳ぎに、大きな声援が響きます。

9 SEPTEMBER

9月

九月祭＆記念祭

学校を挙げて開催される本校最大のイベント。毎年1万人の来場者があります。

クラス展示やクラブ発表、有志企画など何でもありの2日間。生徒のパワーが爆発します。

10 OCTOBER

10月

芸術鑑賞

音楽や演劇など一流の芸術家を招いて楽しく鑑賞します。

運動会

騎馬戦やクラブ対抗リレー、登校競争など、全21種目の競技に汗を流します。

3年生優勝クラスと職員の綱引きは目玉競技のひとつ。手抜きのない真剣勝負に声援が飛びます。

11 NOVEMBER

11月

創立記念式典・追悼会

創立記念日の7日に、学園関係者で亡くなられた方を偲ぶ追悼の会を行います。

祖山参拝

京都東山の浄土宗総本山・知恩院にて、全校生徒でおつとめを行います。荘厳な雰囲気に圧倒されます。

奈良散策（2年生）

偉大な文化遺産を巡る旅。飛鳥や奈良公園などいくつかのコースから行き先を選びます。

1 JANUARY

1月

カルタ大会

クラス対抗戦や個人戦などで熱いバトルを展開。新春の柔道場に百人一首が響き渡ります。

明照祭

浄土宗の宗祖法然上人の御忌（ご命日）に当たる25日に開催されます。

かけがえのない仲間と結ぶ絆。

仲間が一丸となって、心身ともにたくましい成長を遂げる。

アーチェリー部

ハンドボール部

テニス部

剣道部

卓球部

バレーボール部

野球部

吹奏楽部

陸上部

バスケットボール部

ゴルフ部

水泳部

オーケストラ部

弓道部

無線研究部

ジャグリング同好会

クラブ一覧

【運動部】
- 野球部
- バスケットボール部
- バレーボール部
- サッカー部
- テニス部
- 卓球部
- 陸上競技部
- 柔道部
- 剣道部
- 弓道部
- ハンドボール部
- バドミントン部
- ワンダーフォーゲル部
- スキー部
- 水泳部
- アーチェリー部
- ゴルフ部

【文化部】
- 文芸部
- 歴史研究部
- 科学部
- 無線研究部
- 生物部
- 宗教研究部
- 地学部
- 弁論部
- 美術部
- 吹奏楽部
- 書道部
- ESS
- 郵便友の会部
- 写真部
- 放送部
- 合唱部
- 天文部
- 園芸部
- オーケストラ部
- 棋道部
- 演劇部
- 数学研究部
- ディベート部
- 軽音楽同好会
- ジャグリング同好会
- 交通研究同好会

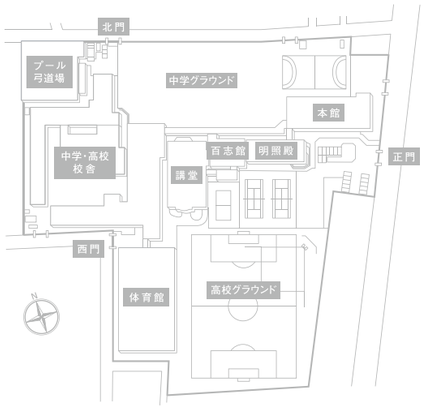
高校からの部

【運動部】
- 山岳部
- 馬術部
- ラグビー部
- アメリカンフットボール部
- 自転車同好会
- ボウリング同好会
- 釣同好会

【文化部】
- 映画研究部
- 新聞部
- 社会研究部
- 電波科学研究部
- 図書部
- 漫画研究部
- 交通同好会
- 模型同好会
- 第二外国語同好会

充実した、
個性を育む場。

大規模な改築を経て施設が一新
充実の学び舎がここにある。



豊かな6年を過ごせる環境

昭和6年に完成し、国の登録有形文化財に指定されている講堂は、当時の外観のまま活用しています。さらに近年、生徒が過ごす時間をより良いものとするために、主要施設を大規模改築。中学校舎や体育館、プールといった、学生の学び舎や運動の場が新しくなり、生徒は活き活きと毎日を過ごしています。古きよきものと新しい施設がともに建つ、歴史ある本校ならではの温故知新の精神を肌で感じられる環境にあります。

校舎等

明照殿

講堂

百志館(図書会館)

図書館(開架式書庫)

中学校舎 教室

体育施設 その他

体育館

プール

剣道場

柔道場

食堂

規模と施設

中学 30学級 1,208名(平成27年度)
高校 33学級 1,293名(平成27年度)

施設 (　)内数字は教室数

校舎等

明照殿　講堂　百志館(図書会館)　本館　中学校舎　高校校舎
クラブハウス(中高各1棟)

特別教室

物理実験室(2)　化学実験室(2)　生物地学実験室　調理実習室
社会科教室音楽教室(3)　美術室　技術教室　工作室　書道教室
視聴覚教室　英語リスニングルーム　英語コミュニケーションルーム
英会話教室　情報教室(2)

体育施設

運動場(中高各1面)　テニスコート5面　バレーコート　ハンドボールコート
[体育館]
1F-柔道場・剣道場・卓球場　2F-トレーニングルーム　3F-アリーナ
バスケットコート 2面　バレーボール・バドミントン・ハンドボールにも使用
4F-ランニングトラック
[プール弓道場棟]
1F-弓道場・アーチェリー場　2F-プール25m(10コース)
屋外アーチェリー場　三好総合運動場(野球場・陸上競技場・テニスコート他)

その他

スタディーホール　多目的室　学習室　面談室(14)　進学資料室　補助
教室(4)　学生ホール　生徒会室(2)　放送室(2)　相談室(4)　保健室
食堂　学園資料館　校内売店(書籍・スポーツ用品・文房具・制服等)　同窓会事務局

学びやに育まれ、
未来へ羽ばたく。

『個性を尊重する自由な学び』

平成27年度入学

石川 竜聖さん 〈東海中学校3年〉

僕が思う東海中学の魅力は、何か好きな分野を持った人がたくさんいることです。僕の友人にも、法律が好きで民法が愛読書の人や、数学が大好きで専門誌の難問と格闘している人がいます。また、東海中学は生徒が多いので同じ趣味の人を見つけやすく、部活もそれに合わせてたくさんあります。先生も、やる気のある人に対してはやる気がある分だけ積極的に支援してくださいます。現に、僕が数学研究部に所属していて、新たに情報分野を学ぼうと科学部との兼部を考えたときは、親身に相談にのっていただきました。学習面では日々満足できる素晴らしい授業が行われていますし、質問に対しても非常に親切に答えていただけます。東海中学とは、たくさんの個性が響き合い、刺激し合い、さらにその個性が調和し、互いに高め合う場所。そんな自由な学び舎なのです。僕はこの自由な学び舎で、数学も、情報も、勉学も、すべて精進していきたいと思っています。

［東海中学校で努力していること］

数学研究部では、数学コンクール、数学オリンピックへの参加を。科学部では、プログラミングの学習などの活動を行っています。それぞれの部活に、頼れる先輩や親切な先生がいらっしゃいます。そのような人たちに支えていただきながら、自分の趣味をさらに極めていきたいです。

『学校生活は自分でつくるもの』

平成24年度入学

西小路 利祐さん 〈東海高等学校2年〉

私がこの東海中学で学んだことは「学校生活は自ら勝ち取るもの」ということです。私は入学当初から九月祭やサタデープログラムに関わってきました。そして、1年生の後期にはサタプロでチラシのデザインを担当し、3年生になると九月祭で装飾班長を務めました。この学校の行事は、生徒が主体となって様々な仕事を受け持つことができます。しかしそれは、先生方が生徒に無理やりさせるのではありません。私を含め、そういった生徒が自ら望んで行うのです。また、この東海中学には、中高含め数多くの部活があるので、運動部・文化部を問わず、自らが「やりたい!」と思えるような部活に入ることができます。東海中学は自由だとよく言われます。その「自由」というのは、言い換えれば「いくらでも自分で充実した学校生活にできる可能性」なのです。だからこそ、この学校生活を充実させるのは、両親の言葉でも先生方の指導でもなく、「自分自身である」ということを学びました。

［中学校で一生懸命取り組んだこと ］

私は軽音楽同好会と美術部を兼部しながら、九月祭やサタプロの運営に関わっていました。忙しくて辛い時期もありましたが、勉学以外のことにもバランスよく取り組むことができました。自分の行動にきちんと最後まで責任を持つように意識するなど、将来に活きる貴重な経験になったと思います。

『自ら考え行動する人になる』

平成27年度卒業

後藤 有輝さん 〈名古屋大学 医学部医学科〉

東海中学の魅力は、学校が生徒の自立心を育んでくれるところです。他校に比べて宿題が極端に少ないので、自分に必要なことを十分に勉強することができます。私は数学の力を伸ばしたいと思ったので数学を重点的に勉強しました。学習面以外でも、自立させてもらえていると感じる部分があります。それはサタデープログラムです。私は2年生のときサタプロの実行委員になり、著名人の講演を企画・実行しました。思い返すと、あのときに自分たちで考え、電話で交渉し、実際に講演していただいたという経験が、今の自分を形作る上で大きな糧になりました。サタプロに参加して良かったと思うとともに、サタプロという企画を推奨してくれたこの学校に本当に感謝しています。また、東海中学には個性的な生徒がたくさんいて、豊かな人間関係を築くことができます。私が東海中学で出会った友人は、この先も私の人生においてとても大きな存在であり続けるだろうと思います。

［中学時代一生懸命取り組んだこと］

ハンドボール部に所属していましたが、あれほど1つのスポーツに熱中したのは初めてです。練習は厳しく、ときには辛かったですが、チームメイトと一生懸命練習したサインプレーが試合で見事成功し、得点できたときの嬉しさは今でも忘れることができません。努力は必ず報われるのだと心から実感しました。

『豊かな人間性を培う場所』

平成20年度卒業

布施 佑太郎さん 〈名古屋第二赤十字病院〉

東海中学を卒業し10年ほどが矢のように過ぎ去った現在、生徒時代を振り返ると懐かしい思いでいっぱいです。東海中学の魅力とは、その学校生活において、人間性を培う経験の場を適切なタイミングで与えてくれることと考えます。授業面では、副科目の内容も充実しており、美術や音楽の授業で得た教養は現在も役立っています。課外授業では水練会・文化祭が東海中学ならではと言えます。水練会では小学生の名残が残る一年生が同級生と共同生活し、ボートからの監督指導のもと伝統のふんどしで海を泳ぐ、という厳しくも貴重な経験ができます。また、文化祭はその規模の大きさで地元では有名です。数か月前から趣向を凝らしてつくりあげるプロセスの中で、コミュニケーションや思いやり、リーダーシップなどが自然と身についていきました。本物に触れ、多様な価値観の存在に気づき、他者を重んじつつも、自分の将来の軸を定めるのに適した経験が豊富にできるのが、東海中学校です。

［中学時代一生懸命取り組んだこと］

勉学。その一言に尽きます。青春の使い方は人それぞれですが、中高一貫制の東海にいるという強みを活かしたいと考えました。やみくもな勉強ではなく、いかに効率よく必要な勉強をするか。中学のうちに試行錯誤したことが、その後の大学受験における成功につながったと感じます。

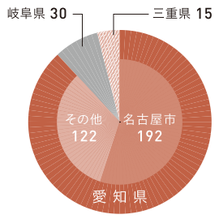
夢を叶えた先輩たちの軌跡。

各界で活躍する人材を数多く輩出する、全国トップレベルの実績。

社会で輝く、多数の卒業生たち

東京大学や京都大学をはじめ、慶應義塾大学や早稲田大学など、国公立・私立ともに全国トップクラスの難関大学へ、毎年多くの先輩たちが合格しています。なかでも医学部医学科への進学率は、全国的にみても他校に比べて高い実績を誇っています。また、卒業生の多くが進むべき道へ輝かしい飛躍を遂げ、日本が誇るスペシャリストとして活躍しています。東海中学校の学習環境の充実度と、人間性豊かな人材を育てる教育力に対して、社会からも高い評価を得ています。生徒が夢をみつけ、東海中学という場を生かし、その先に進むために、一人ひとりに合わせたサポート体制を整え、夢の実現を支援しています。

中学生地域別入学者数
（計359名）



平成29年度（2017年度）

東海高等学校大学進学実績

平成29年度（2017年度）主な大学の合格者数
（　）は医学部医学科合格者数

大学名	平成29年度	過去5年間
東京大学	30	144(9)
京都大学	36(8)	166(21)
名古屋大学	63(31)	285(130)
北海道大学	12(2)	50(11)
東北大学	5(5)	20(12)
一橋大学	2	29
東京工業大学	3	22
名古屋市立大学	27(19)	125(88)
岐阜大学	16(9)	87(53)
三重大学	3(3)	25(12)
大阪大学	5(1)	53(6)
国公立大学合計（大学校含まない）	303(121)	1508(541)
慶応義塾大学	43(1)	299(9)
早稲田大学	73	428
私立大学医学部医学科合計	**(89)**	**(443)**

平成29年度（2017年度）の左記以外の主な大学合格者
（　）は医学部医学科合格者数

国立大学
秋田大学2(2)　筑波大学4(3)　千葉大学1　横浜国立大学6　富山大学2(2)　金沢大学4(1)
福井大学5(4)　山梨大学5(5)　信州大学5(4)　浜松医科大学1(1)　名古屋工業大学15
神戸大学1　広島大学4(3)　山口大学1　高知大学1(1)　九州大学6
公立大学
横浜市立大学1　京都府立医科大学3(3)　大阪府立大学5　奈良県立医科大学1(1)
大学校
防衛大学校5　防衛医科大学校4(4)
私立大学
青山学院大学7　順天堂大学5(4)　上智大学2　中央大学25　東京理科大学43　明治大学34
法政大学8　立教大学2　愛知医科大学12(12)　愛知学院大学2　藤田保健衛生大学40(39)
南山大学10　同志社大学51　立命館大学23　大阪医科大学3(3)　関西医科大学7(7)　関西学院大学4　関西大学6　など

全国屈指の教育環境が生んだ人材

4万人を超える同窓生は様々な分野で活躍しています。また、東海生は卒業後も活発な同窓会によって深い心の絆で結ばれています。政界における第76代内閣総理大臣の海部俊樹氏、愛知県知事の神田真秋氏、医学界の斎藤英彦氏、実業界の安井義博氏、加藤武氏、法曹界の高須宏夫氏、文化勲章受章哲学者の梅原猛氏、ニュースキャスターの木村太郎氏（高校から入学）、フィールズ賞受賞数学者の森重文氏、NHKアナウンサーの三宅民夫氏、直木賞作家の大沢在昌氏など、枚挙に暇がありません。

海部俊樹氏
旧中38回卒

木村太郎氏
新高9回卒

森　重文氏
新高21回卒

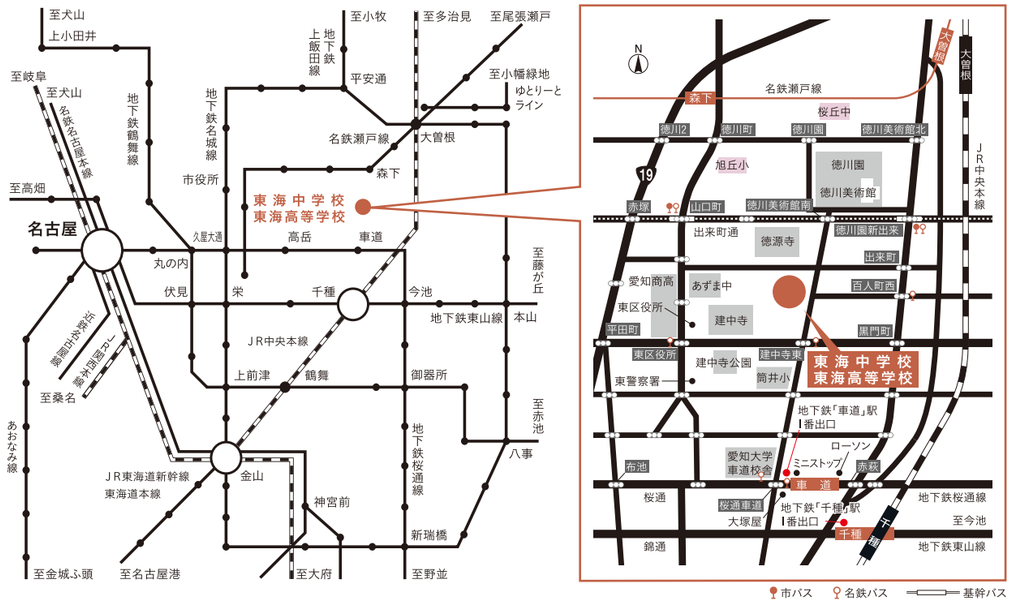
三宅民夫氏
新高23回卒

大沢在昌氏
新高26回卒

林修氏
新高36回卒

アクセスマップ

東海中学校は名古屋の中心部にあり、
地下鉄桜通線や東山線、名鉄バスや基幹バスなど
通学に便利な場所に立地しています。
学校周辺には、建中寺、徳源寺や徳川園など寺院や庭園が点在し、
静かで落ち着いた場所で自分と向き合える環境が整っています。



電車

- ■地下鉄桜通線　：車道駅下車1番出口[徒歩10分]
  地下鉄東山線　：千種駅下車1番出口[徒歩15分]
- ■JR中央本線　：千種駅下車[徒歩15分] ／ 大曽根駅下車[徒歩17分]
- ■名鉄瀬戸線　：森下駅下車[徒歩12分]

バス

- ■基幹バス　：徳川園新出来下車[徒歩4分] ／ 山口町下車[徒歩7分]
- ■市バス　：桜通車道下車[徒歩10分] ／ 東区役所下車[徒歩5分]
  建中寺東下車[徒歩4分] ／ 百人町下車[徒歩3分]
- ■名鉄バス　：徳川園新出来下車[徒歩4分] ／ 山口町下車[徒歩7分]

東海学園

東海中学校　〒461-0003 名古屋市東区筒井一丁目2-35　TEL(052)936-5111　FAX(052)936-5143

東海高等学校 …… 〒461-0003 名古屋市東区筒井一丁目2-35　TEL(052)936-5111
東海学園高等学校 …… 〒468-0014 名古屋市天白区中平二丁目901　TEL(052)801-6222
東海学園大学 ●名古屋キャンパス／人文学部・教育学部・健康栄養学部 …… 〒468-8514 名古屋市天白区中平二丁目901　TEL(052)801-1201
●三好キャンパス／経営学部・スポーツ健康科学部 …… 〒470-0207 みよし市福谷町西ノ洞21-233　TEL(0561)36-5555